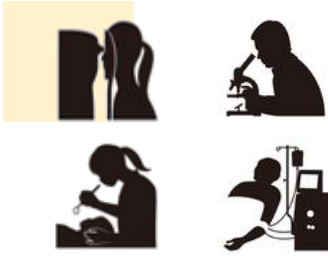


診療技術部だより



令和6年9月

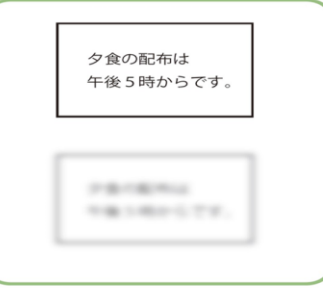
Vol.31 医療技術科（視能訓練士）

今回の診療技術部だよりの担当は医療技術科（視能訓練士）です。
今回のテーマは「防災」です。

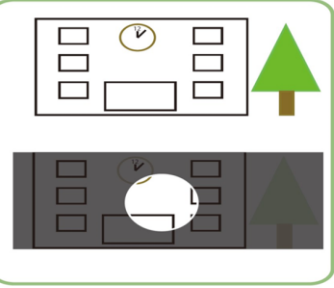
9月1日は防災の日です。令和6年の元旦、能登半島での地震に続き、宮崎県でも地震が発生し、南海トラフ地震への懸念が高まっています。これらの地震は私たちに災害への備えの重要性を再認識させました。視覚障害者の皆さんが避難所で安心して過ごせるよう、皆様のご支援が必要です。避難所でのサポート方法をご紹介します。

見えにくさにはいろいろあります

視力低下



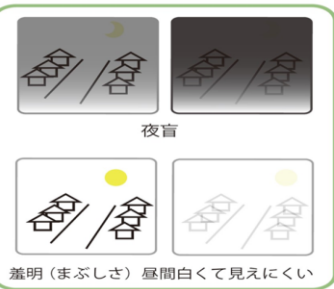
視野障害



色弱



順応障害



見えない・見えにくい方と出会ったら

・支援者であることを告げる



・困っていることがないか聞く



・必要な時には、近隣の見えない・見えにくい方の支援団体を調べて紹介する。

見えない・見えにくい方を支援していただく方へ

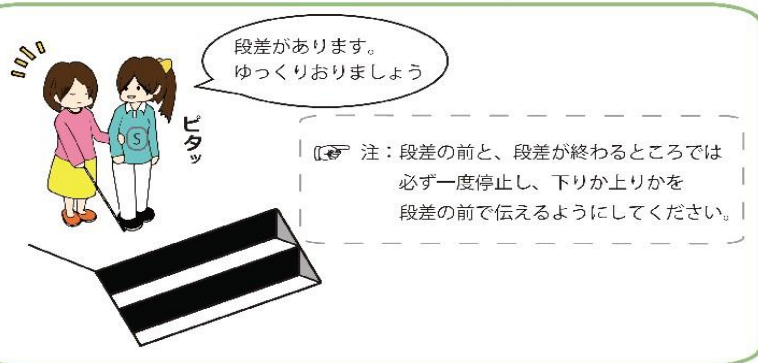
・声をかけるときは正面から



・移動するときは肘を持ってもらう



・段差や危険な時は止まって説明 (S)：支援者



こんなことを支援してもらえると助かります

・読み書き、状況説明



・食事等をもらうときに一緒に並ぶ (S)：支援者



・トイレの利用



少し気配り
見えない・見えにくいことをオープンにしていない人もいます
見えない・見えにくいことを知られたくないなあ
周りに知られたくないという方がいます。困っていることへの支援は大切ですが、必要以上に関わったり、情報を押し付けることのないようにしてください。見えにくいとその都度困ることがありますので、いろいろな場面でさりげなく支援できるといいです。

出典：日本ロービジョン学会。
リーフレット「避難所内の見えない・見えにくい人 ご支援ください」2016年度版。
<https://www.jslrr.org/wp-content/uploads/2016/03/shien.pdf>, (参照 2024年8月20日)